

2022年7月22日

株式会社 A D E K A

先端半導体メモリ向け高誘電材料の生産能力を増強

株式会社 A D E K A（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、連結子会社の ADEKA KOREA CORP.にて、先端半導体メモリ向け高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズの生産能力増強を決定しました。投資額は23億円、2024年度中に営業運転開始予定です。

5G通信の拡大やAI、メタバースをはじめとした高度ICT社会の実現に向けて、半導体市場は2030年に1兆ドル規模に成長すると見込まれています。なかでもDRAMは、パソコンやスマートフォン、データセンターなど高度かつ大容量な情報処理が求められる用途で需要が伸長しています。また、大容量化や消費電力削減などのニーズを背景にDRAMの微細化が進行しており、これを下支えする先端半導体材料の安定供給が鍵を握っています。

先端DRAMの微細化に欠かせないADEKAの高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズは、世界シェアNo.1の半導体材料です。2021年にADEKA KOREA CORP. 全州第二工場内に一貫生産体制を構築するなど、先端製品を迅速かつ安定的に供給するための取り組みを推進してきました。この度の増強により生産能力を2倍以上に引き上げ、より万全な供給体制を構築します。

半導体材料のさらなる技術革新が求められるなかで「アデカオルセラ」シリーズは、現行世代からさらに数世代にわたって使用される見通しであり、当社グループの利益拡大に貢献することを見込んでいます。

ADEKAグループは最先端EUVフォトリソ向け光酸発生剤の能力増強（千葉）、先端ロジック半導体向け材料の新プラント建設（台湾）など、先端半導体分野へ積極的に投資しています。

今後も日本をはじめ、韓国、台湾、米国での研究開発・生産・販売体制の強化・相互連携により、高度ICT社会の実現に貢献してまいります。

◆ 生産能力増強 概要

所在地	ADEKA KOREA CORP. 全州第二工場（韓国 全羅北道 完州郡）
投資金額	23億円
生産能力	現行の2倍以上
スケジュール（予定）	着工：2022年11月、営業運転開始：2024年度中



▲ ADEKA KOREA KORP. 全州第二工場

補足：ADEKA 情報・電子化学品事業について

情報・電子化学品事業は、半導体分野やディスプレイ分野で高度 I C T 社会の発展に欠かせない先端“素材”を提供しています。

A D E K A グループ中期経営計画『ADX 2023』（2021-2023 年度）では、「次世代 I C T 分野」を重要分野の一つと位置付けています。2021 年度は、I o T や 5 G 通信の普及拡大に伴うデジタル機器の高機能化やデータセンター投資の拡大を背景に販売を拡大し、連結営業利益は 119 億円（前年度比：55.8%増）となり、『ADX 2023』最終年度目標（110 億円）に 2 年前倒しで到達しました。今後も当社グループのプロフィットセンターとして、飛躍的な規模拡大を目指します。

【業績概要】

（単位：億円）

		情報・電子化学品	A D E K A 連結
2021 年度	営業利益	119	349
	売上高	364	3,630
2022 年度（予）	営業利益	136	370
	売上高	422	4,060
『ADX 2023』目標 (2023 年度)	営業利益	110	350

以 上

■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社 A D E K A 法務・広報部 総務・広報グループ

Tel:03-4455-2803/E-mail: somu@adeka.co.jp